バクチノキ（バラ 科） **兵庫県：Bランク**

Prunus zippeliana Miq. **環境省：－**

種の概要

常緑高木で、高さ15m、径1mになる場合もある。樹皮は灰黒色または灰褐色、平滑で、外皮が鱗状にはげて、その跡は紅黄色となり、特異なまだら状になり、皮目は目だたない。若い枝は紫褐色で無毛。葉は革質、葉柄は無毛で長さ約1cm、葉身は長楕円形、先は急な鋭尖形または鋭形、基部は鈍形または鋭形となり、縁は裏側へ反り、内曲した腺状の鋭い鋸歯があり、長さ8-14cm、裏面は淡緑色で、表裏とも毛がない。蜜腺は葉柄上部にある。花期は9月。葉腋から多数の花をつけた穂様の花序をだす。花序は葉がなく、長さ2-3cm、花柄には褐色の毛を密生する。苞は広卵形、紫褐色、長さ約2mmで、褐色の毛があり、瓦重ね状に並び、開花の時に落ちる。花柄は長さ約2mmで、短毛を密生する。

国内分布

本州（関東以西）、四国、九州、沖縄

県内分布

家島町、津名町、洲本市、三原町、南淡町

選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
						○

特記事項

特になし

保護上の留意点

生育地の保全